

(7) 2018年(平成30年)9月10日(月曜日)

物流Weekly

# 運搬機器の位置把握

## ユーエイ キャスター 「発電・センサキャスター」

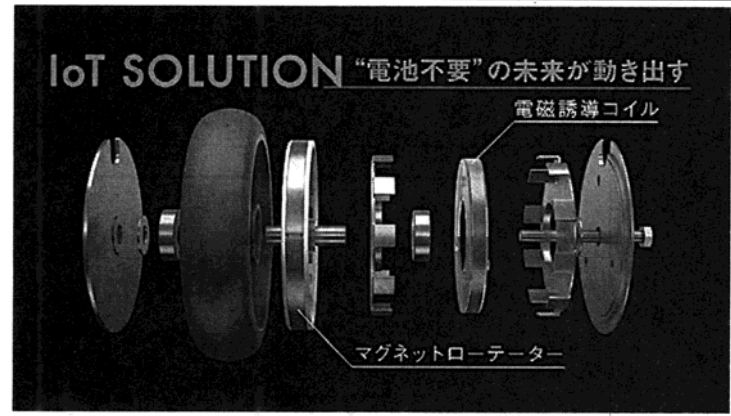
ユーエイキャスター(雄島耕太社長、大阪府東大阪市)は、物流現場での困りごとを解決するIOTソリューションとして、運搬機器の位置を検知する機能を搭載したキャスターを、国際物流総合展2018に参考出品する。

「発電・センサキャスター」は、走行時の回転によって発電するエナジーハーベスティング技術(環

境発電技術)を採用し、電池交換も不要なバッテリーレス構造となっている。自転車のライトなども使われているダイナモ発電と同様、電磁誘導コイルとマグネットを利用してキャスターの回転によって電気をつくる仕組み。

今回参考出展する「発電・センサキャスター」は、「EnOcean 無線通信モジュール」と各

種センサを内蔵し、シヨッピングカートにキャスターを取り付けて稼働状態をモニタリングできるテスト環境を構築する。



「発電・センサキャスター」は、走行時の回転によって発電するエナジーハーベスティング技術(環

アルタイムで表示。1日の中で稼働が集中する時間がひと目で分かり、稼働率も時間単位で把握することが可能となる。時間ごとや、曜日ごとに運搬機器の稼働状態や傾向を分析することで、運搬機器の配置エリアや設置台数の最適化を実現する。

また「発電・センサキャスター」は、キャスターに内蔵されたセンサと通信デバイスでバッテリーレスで稼働させることができるため、電池交換のメンテナンスが不要となることもIOTサービス導入のハードルを大きく下げることができる。発売予定は2019年中を予定。同社の国際物流総合展でのブース番号は東6ホールの6-307。

(木村麻理奈)